

クイズ形式で行った「PDFの機能に関する認知度調査」解説（グレーの選択肢が正解）

1. 「PDFの編集方法」について正しいと思うものを選んでください（正答率：9.6%）

- アプリをインストールすればインターネットブラウザ上でPDFを編集することができる
- スマートフォン、PC、タブレットの各デバイス版アプリを購入すればPDFを共有、編集することができる
- **タブレットやスマートフォン用アプリを使えばPDFを編集することができる**
- わからない/当てはまるものはない

→[マルチデバイス対応](#)

Acrobatならデスクトップアプリケーションのほか、モバイルアプリでもブラウザ上でもPDFに関わる様々な作業が可能です。手元に普段お使いのPCがなくとも作業が滞ることはありません。

2. 「PDFをオンラインで他の人に共有してコメントしてもらう方法」について正しいと思うものを選んでください（正答率 17.8%）

- 相手が別のアプリを使うとコメントが表示されない。
- PDFについてのコメントはMicrosoft Wordの校閲機能では読み込めない
- **コメントをつけるのに有償のアプリを使う必要はない**
- わからない/当てはまるものはない

→[Adobe Acrobat Reader](#)のコメント追加

Adobe AcrobatでPDFを共有すればオンライン上で複数の人が文書のレビューを同時に実施することができます。レビュー依頼を受ける側は、有償版/無償版いずれのAdobe Acrobatのユーザーでもコメントを追加することが可能です。

3. PDFに動画を埋め込むことについて、正しいものを選んでください（正解率：24.5%）

- インターネットに接続していれば動画を埋め込んで再生できる
- **インターネット接続がなくても動画を埋め込んで再生できる**
- PDFには動画を埋め込むことはできない
- わからない/当てはまるものはない

→[PDFに動画や3Dコンテンツを埋め込む方法](#)

プレゼンテーション資料や営業資料などに動画や音声を埋め込んでより魅力的な資料

にすることができます。Adobe Acrobat Pro なら、インターネット環境がなくても再生可能です。

4. 「PDFの作成方法」について正しいと思うものを選んでください（正答率：25.3%）

- スマートフォンのカメラで撮影された写真から PDF は作成できない
- PDF アプリケーションアイコンへのファイルのドラッグ&ドロップで作成できない
- PDF の白紙を新規作成することはできる
- わからない/当てはまるものはない

→[Acrobat での PDF の作成](#)

Acrobat を使用して PDF ファイルを作成するには様々な方法があります。白紙の新規作成を知っておくと、PDF に後で編集や挿入ができるように白紙を挿入しておく必要がある場合等にも便利です。編集機能を合わせて使えば直接文字を入力したり画像を配置したりすることが可能です。

5. PDFの機密情報を隠す「墨消し」の説明で正しいと思うものを選んでください（正答率 13.6%）

- 蛍光ペンの色を黒くして文字を隠す
- テキストボックスを黒く塗りつぶす
- 文字情報を削除する
- わからない/当てはまるものはない

→PDF内の機密情報を削除する「[墨消しツール](#)」

PDF内の機密情報を隠すことができ、文字検索などによる情報の抽出を防ぎます。PDFを配布する前に「非表示情報を完全に削除」機能を使用して、非表示になっているコンテンツを PDF から検索し、「墨消しツール」でテキストやグラフィックを完全に削除します。

6. 「PDFのフォント」についての説明で正しいと思うものを選んでください（正答率：20%）

- PDF 内で指定のフォントを使っていないとアラートを出すように設定することができる
- PDF のテキストは閲覧する環境が変わると異なるフォントで表示される

- PDF では最初に作成された際のフォントを継続して使用し続けることになる
- わからない/当てはまるものはない

→[PDF のフォント](#)

Adobe Acrobat Pro なら「印刷工程」の「プリフライト」でフォントをカスタム指定することで、使用すべきでないフォントがハイライトされます。企業指定のフォントがある場合などの確認に便利です。PDF 作成時にきちんとフォントが埋め込めていないと正しく表示したり編集することはできません。

7. 次にあげる機能で、PDF ではできないと思うものを選んでください（正答率:18.7%）

- 地図情報（緯度と経度）の表示
- PDF 内の画像の長さや面積の測定
- セキュリティをかけていない PDF 文書が改ざんされていることをアラート
- わからない/当てはまるものはない

→[PDF ファイルで電子署名を利用する方法](#)

Acrobat では、証明書ベースのデジタル ID により、PDF 文書が作成されてから改ざんされていない文書であることを確認することができます。

→[地図情報 PDF](#)

地図情報を PDF 内に読み込むと、その地図座標が Acrobat に保持されます。Acrobat 内に読み込んだ地図情報のデータは、経営情報を地理的に可視化し分析・共有する際等に活用されています。

→「[PDF 文書の寸法や面積を測定する方法](#)」

Adobe Acrobat Reader の「ものさしツール」を使用してフォームや CAD 図面などにあるオブジェクトの 2 点間の長さ、複数点間の合計の長さ、面積を調べることができます。

8. 現在日本の印刷会社でデータ入稿時に主に用いられている PDF の規格として正しいと思うものを選んでください（正答率：21.3%）

- PDF/X
- PDF/A
- PDF/E

→[PDF で入稿データを作るには？](#)

長期間や環境が変わっても正しく表示できるよう PDF の利用目的別に規格が ISO(国際

標準化規格)で定義されています。PDF/A は長期保存用、PDF/E は設計図面用、PDF/X は印刷用で PDFX-1a、PDF/X-3、PDF/X-4 があり、アドビではドロップシャドウなどの透明効果が使用可能な PDF/X-4 での入稿を推奨しています。

9. PDF と他のファイル形式の連携について正しいと思うものを選んでください(正答率: 27.6%)

- PDF ファイルは元のファイル形式にかかわらず、任意のファイル形式のファイルに再変換することができる
- PDF の中に Microsoft Word や Excel など複数のファイルを入れてひとつのファイルとして扱うことができる
- 動画を PDF に変換した場合、任意のフレームをサムネイルに設定できる
- わからない/当てはまるものはない

→[ポートフォリオ機能](#)

PDF、Word、Excel、Photoshop、Illustrator、動画など、様々な形式のファイルを PDF でひとつにまとめることができます。提案書の提出時など複数のフォーマットでデータを用意する際に、ポートフォリオ機能により、データを一元管理して関係者に共有することができます。

10. 次にあげる機能で、PDF ではできないと思うものを選んでください (正答率 19.5%)

- フォーム (文字入力欄) の作成
- 音声による読み上げ
- QR コードの作成
- わからない/当てはまるものはない

→Adobe Acrobat で QR コードを作成することはできませんが、無料のオンライン写真/デザインツール「[Adobe Express](#)」で作成することができます。[PDF にフォームフィールドを作成すること](#)や[アクセシビリティ機能を使用した PDF の音声読み上げ](#)は可能です。

以上